

(福) ケアハウス信愛館

◆長く続いた梅雨も明けました。水の被害もなく、新型コロナウイルスに關しても入居者皆様がお互いに注意し合って生活されています。お蔭さまで普段通りの日常が送れていることに感謝する毎日です。

◆六月二十四日(水)「宮莊川沿いのあじさい」鑑賞ツアーに出掛けました。

川沿いに見事に咲いている花を歩きながら鑑賞し、ティータイムも楽しみました。

◆クラブ活動として「俳画の会」があります。その様子を伝えていただきました。

「俳画を楽しむ」安村久美子  
コロナ禍で中止が続き久しぶりの俳画教室。今日のテーマは「ひめだか」涼し気に愛らしい赤い目だかが水草の中を泳ぎます。二十センチ余りの団扇に爽やかに泳がせたいのですが先生



のお手本のように泳いでくれませ  
ん。それでも四名、それぞれが自分な  
りの作品を描き上げました。

私達の教室はスタートして一年にな  
ります。幸い絵心のある人、書の専門  
家など仲間がいて毎回先生の励まし  
の声に後押しされ、続けています。四名  
とも俳句仲間でもあるので俳諧の洒脱  
な空気感を絵にすることに四苦八苦し  
つつ新しいテーマに挑戦する楽しさも

味わっています。

一気に運ぶ筆の色・線がかるやかで  
魅力なのですが、そのレベルには、ま  
だほど遠いものです。

新しく教わって大切なことは、俳画  
とは、絵は俳句をカバーするものでな  
く俳句と絵画で一つの世界をつくり上  
げるものということでした。

「クラリネット娘の音色春の窓」の  
句に落椿の絵を添えてもいいというよ  
うに。

何時の日か爽や  
かな風が吹き過ぎ  
るような俳画が描  
ける日を夢見て、  
あまり使わない脳  
細胞を活性化させ  
つつ、互いに楽し  
みの時間を共有し  
ています。